

平成26年度～平成29年度長久手市地域福祉活動計画 事業評価シート（抜粋版）

平成26～29年度長久手市地域福祉活動計画（社協）事業評価シート（基本目標1 みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
1	P65	ホームページの効果的運用	社協の各種の募集記事やイベントの広報、関係機関へのリンクなど、情報発信の手段として効果的な運用を行います。	全社	○	ホームページソフトを導入し、簡易に更新可能にしました。 メールでの相談受付は、検討の結果、相談者と直接顔を合わせる機会を失う要因となるため導入を見送りました。 読み上げについてはホームページの仕様で導入できませんでした。 福祉まつり、広報など必要に応じて情報を適宜に発信しました。	改善	随時更新し新情報を発信します。 閲覧者が必要な情報にたどり着きやすくなるよう、ホームページの項目の立て方を変えていきます。
2	P66	「福祉のまちながくて」の発行	社協で行っている事業などの広報紙として、社協の役割や日頃の活動状況などをお知らせしています。	全社	○	平成26年度より4回発行とし市内全戸及び市内企業に市広報紙と同時配布しました。 役員及び評議員に広報紙モニターを行ってもらいました。市民モニター募集を実施しましたが、現在は0名です。 イメージキャラクターを紙面に毎号活用しました。 ホームページとQRコードを活用して連動させました。	継続	今後も社協情報だけでなく市民の関心のある内容、利益となる紙面作りを行っていきます。

平成 26 ~ 29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協）事業評価シート（基本目標 1 みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26~29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
3	P67	【重点プロジェクト】 地区社協設置事業（CSW の配置）	住民が地域の福祉課題を早期 に発見し、互いに支え合いな がら解決していくための取り 組みを、“制度の狭間”で困っ ている方を支援する CSW がと りまとめながら、小学校区を 単位として住民と一緒につく ります。	地域福祉係	○	<p>西・北・市が洞小学校区地区社協の部会 活動として、「感度の良いコミュニティ」 作りのために、合計 152 回（延べ 1,9 55 人参加）の地域福祉学習会を行い、 南小学校区については、地域福祉学習会 を重ね平成 30 年 2 月地区社協設立にむ け準備中です。</p> <p>※平成 29 年 12 月 27 日現在 各地区社協では、これまでに、子どもサ ロン「もりもり元気食堂」、「さくさく宿 題教室」の開催や子育て中の母親向け冊 子の発行、「にこクック」、「絵手紙教室」 「オムツ講座」「こどもひろば」を実施し ました。</p> <p>それぞれの企画は、単にイベントとし ての開催ではなく、地域住民同士の交流 や、早期発見の場として実施し、個別ケ ースの発掘や地域課題の発掘の場となっ ています。</p> <p>CSW の相談実件数実績 ※平成 29 年 11 月 30 日現在 西小学校区 3, 178 件、北小学校区 2, 432 件、市が洞小学校区 269 件、南 小学校区 147 件</p>	充実	長・東小学校区では、CSW の配置が できていないため、早期発見につな がる仕組みを作ることができておらず、 相談には至っていないのが現状です。 そのため、全小学校区に CSW の配 置、地区社協の配置を行います。これ により、地区社協による地域支援と C SW による個別支援を連動させて行 う「感度の良いコミュニティ作り」＝ 地域包括ケアシステムの構築を行っ ていきます。

平成26～29年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標1 みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26～29年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
4	P68	【重点プロジェクト】 「見守りサポーター ながくて」養成事業	声かけ、サロンや地区社協の 支援、訪問による見守り活動 等を行う「見守りサポーター ながくて」の養成を通して、 悩んでいる方の早期発見・早 期対応ができる「感度の良い コミュニティ」を目指します。	地域福祉係	○	サポーター総数 初級 1185名、中級 154名、上級 35名 ※平成29年12月16日現在 初級サポーターが継続的に増えてい る要因としては、愛知県立大学、愛知淑 徳大学や自治会と協力して、身近で簡単 に取り組める環境をつくり、初級講座を 行うことができたためです。 上級・中級サポーターと民生委員との連 携強化を目的に、小学校区ごとの交流会 を開催しました。また個別訪問による見 守り支援は9件となりました。サポータ ーには、サロン運営のお手伝いとして のご協力も頂いております。	充実	民生委員と上級サポーターの関係の 連携強化、関係、役割の明確化を図る ため、中・上級サポーター養成の要綱 改正、生活支援サポーターとの統合に ついて検討をします。
5	P69	【重点プロジェクト】 地域交流のつどい・サロ ン活動の支援	閉じこもり防止や健康増進を 目的とした、住民が気軽に集 まれる場をつくるため、立ち 上げ支援、運営相談を行いま す。	地域福祉係	○	サロン総数 44か所（高齢者41か 所、子育て2か所、障がい1カ所） ※平成29年12月16日現在 これまでは、歩いていける身近な居場 所として、高齢者サロンを中心に、新規 サロンの立ち上げを支援してきました が、サロン助成を開始し多くのサロンが 助成期間を終了し、自主運営を始めてい ます。自主運営への支援としてフードバ ンクの活用を行ったり、継続訪問を行 うなかで、サロン活動への支援を継続し てきました。 サロン活動者と「見守りサポーター ながくて」との交流会を開催して、情報 交換と交流を行い、人手不足と感じて いるサロンとのマッチングを行ったり、障 がい児・者サロンの立ち上げを行いました。 立ち上げについては見守りサポーターの 協力を得て、当事者によるサロンを立ち 上げられるような支援を行いました。	充実	まだまだ総数からみても高齢者サロ ンが多く、子育てサロン・障がい児・者 のサロンの総数が少ないこともあり、 子育てサロンの立ち上げを促してい きます。また障がい者サロンの継続運営 が図れるように支援します。

平成 26～29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 1 みんなが「気づく」きっかけ、場があるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26～29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
6	P70	福祉実践者のつどい	市内の福祉事業所に勤務している職員同士の意見交換や交流を目的に3か月ごとに実施しています。	地域福祉係	△	市内福祉事業所職員を対象に交流会や勉強会等を実施しました。 職員同士のネットワークは構築できていません。 開催実績 平成 26 年度：3 回実施 参加者 99 名 平成 27 年度：4 回実施 参加者 73 名 平成 28 年度：2 回実施 参加者 27 名 平成 29 年度：未実施	廃止	交流会や勉強会等を企画・実施してきましたが、年々参加者が減少しています。市において、大規模な医療・介護・福祉ネットワークが立ち上がり、本事業と目的が類似し相違がないため、廃止を検討します。

平成 26～29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 2 みんなが「つながる」楽しさを知るまち）

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当係	H26～29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
13	P76	福祉まつり	市内のボランティア団体・福祉施設が出展し、活動内容などを発信できるように場を設けると同時に、ボランティア同士や福祉関係者同士が連携するための交流も目的に開催しています。	全社	○	平成 26 年より市民主体の実行委員会が主催の形式にて開催しました。 新たな企画としてメインテーマを設けて 28 年は「障害」・29 年は「子ども」としました。 経費削減として備品の削減等を行いましたが十分な成果は出ていません。 来場者 平成 26 年度：1,700 名 平成 27 年度：1,500 名 平成 28 年度：1,400 名 平成 29 年度：荒天中止	継続	今後も地域の企業等の協賛も得て、実行委員会主体で開催をしていきます。

平成 26～29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 3 みんなに「届く」安心なまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
23	P84	居宅介護事業・地域支援事業（障がい者総合支援事業）	住み慣れた地域で継続的に在宅生活を続けるために、ホームヘルプサービスを提供しています。また、障がいの社会参加を促進する為の移動支援も行っています。	ホームヘルプステーションかえで（事業係）	○	職員体制を整備のため求人チラシ、就職フェア等に出展等を実施して職員採用をしましたがニーズの増加に対応しきれていません。 利用者実績 平成 26 年度：7 名 平成 27 年度：12 名 平成 28 年度：18 名 平成 29 年度：19 名（12 月末現在）	継続	本事業所以外でも市内事業所は、新規の受け入れが困難な状況です。また、障がい者への対応の経験値が低い職員もいるため研修等を通じて、スキルアップを図ります。
28	P89	年忘れ「お笑い演芸会」の開催	高齢者同士の交流や外出の機会創出のために、ボランティアによる寄席を開催しています。	地域福祉係	○	ボランティアによる落語の寄席を開催しました。多くの参加者に來てもらうため、予約制を廃止、土曜日開催を実施しましたが、目標の 350 名には届きませんでした。 参加者実績 平成 26 年度 269 名 6 か所 平成 27 年度 200 名 6 か所 平成 28 年度 231 名 6 か所 平成 29 年度 244 名 3 か所	継続	平成 29 年度から小学校区（6 箇所）から中学校区（3 箇所）での開催に変更しました。※開催は、北中学校区 1 回実施、長久手中学校区 2 回実施。 次年度は、3 つ中学校区でのすべての開催を検討します。

平成 26 ~ 29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 4 みんなで「支え合う」喜びを知るまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26~29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
29	P91	ボランティアの紹介・ 斡旋	ボランティア活動に参加したい人に対し、ボランティアを求める方を紹介しています。	ボランティ アセンター (地域福祉係)	○	登録団体・ボランティア募集をホームページに掲載しました。 「まちセンまつり」に出展し PR 及び情報発信を実施しました。 ボランティア団体情報誌「ザ・ボラセン」、ボランティア通信の配布、回覧を市内福祉施設に実施しました。 広報紙にてボランティア特集、団体の紹介記事を掲載しました。 様々な周知活動を実施していますが、ボランティアの派遣数は横ばい です。 ボランティア依頼、派遣実績 平成 26 年：依頼 103 件派遣 117 件 平成 27 年：依頼 103 件派遣 119 件 平成 28 年：依頼 94 件 派遣 115 件 平成 29 年：依頼 74 件 派遣 83 件 (12 月末現在)	充実	ボランティアセンターを PR する為に、「福祉のまち ながくて」への掲載の継続、ホームページの充実、ボランティアセンターの掲示板の有効活用を推進します。特に、ボランティア依頼については、ホームページや掲示板にすぐに反映し、ボランティアをしたい人が応募しやすい体制作りをします。 地区社協を活用した情報提供を検討します。

平成 26～29 年度長久手市地域福祉活動計画（社協） 事業評価シート（基本目標 5 みんなに「たつせがある」成長できるまち）

【事業評価】

◎	計画どおり実施されている
○	概ね計画どおりだが、一部未実施
△	大幅に計画から遅れている
×	未実施

【事業方針】

継続	現行どおり、事業を継続する
充実	事業の充実、強化を図る
改善	事業の見直し、改善を図る
縮小	事業規模を縮小する
廃止	事業を廃止する

番号	ページ 基本施策	事業名	事業概要	担当課	H26～29 年度 事業評価	進捗状況・評価 (評価の根拠となる数値等を、 なるべく具体的に記入。)	事業方針	今後の方針 (充実、改善の方策等、 具体的な内容を記入。)
39	P103	地域のケアマネジャーの個別支援とネットワーク構築	高齢者などの個々の状況や変化に応じた包括的、継続的なケアマネジメントを実現するため、他事業所のケアマネジャーの個別相談や助言を行うなどの後方支援を行っています。	地域包括支援センター (相談支援係)	○	地域のケアマネジャーに対して適宜電話相談・同行訪問等の支援を行っています。 ケアマネジャー連絡会を開催し情報交換、収集を行いました。また、多角的な視点で支援が行えるよう、個別地域ケア会議の実施方法を市と検討しました。 職員のスキルアップを目的に「地域包括ケア研修」などに参加しました。 地域のケアマネジャーとのネットワークについては構築中であり未達成です。	充実	ケアマネジャー連絡会と地域ケア会議を継続し、ケアマネジャーの資質向上や情報交換を行います。また、地域におけるケアマネジャーのネットワークを形成していきます。